



ウイン・パートナーズ 株式会社 | 第2期 株主通信 Vol.5
2014年4月1日～2015年3月31日

PARTNERS Report

ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜りまして厚く御礼申し上げます。

2015年3月期は、ウイン・パートナーズグループにとって飛躍の年となりました。2014年5月にジャスダックから東証第二部へ市場変更、同年9月には東証第一部市場への昇格を果たしました。これを機に、上場企業としての社会的責任を更に自覚し、株主の皆様方のご期待に応えるべく、精進して参る所存です。

当社グループは、身体への負担が少ない、いわゆる低侵襲医療にいち早く注目し、心臓カテーテル製品の販売において国内トップシェアを誇ります。

低侵襲医療は、早期回復が可能なことから医療費の抑制も期待でき、高齢化や医療財政の問題を抱える日本において、需要が一層高まることが予想されます。「すべての人に、ベター・クオリティ・オブ・ライフ」という企業理念の下、これからも、低侵襲医療の普及を通じ、日本の医療の発展に貢献するとともに持続的な成長を実現して参りますので、今後ともご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 秋沢英海

連結財務ハイライト (2015年3月期)

	百万円	前期比
売上高	50,558	+1.5%
営業利益	2,599	+4.8%
経常利益	2,626	+5.1%
当期純利益	1,690	▲8.1%
1株当たり当期純利益(円)	117.78	▲8.1%

当期のトピックス

- 4月 保険償還価格の改定
子会社の福島県の営業所を統合
- 5月 東京証券取引所 市場第二部への市場変更
- 6月 広島県に小規模営業拠点を開設
- 8月 熊本県に小規模営業拠点を開設
- 9月 東京証券取引所 市場第一部へ昇格
テスコ本社兼倉庫を移転増強
- 11月 北海道函館市に小規模拠点を開設
- 12月 長野県佐久市に出張所を開設
- 3月 100万株の株式売出しを実施

Q-1 貴社のビジネスモデルと市場での優位性について教えてください。

当社グループは独立系の医療機器商社として、国内外の医療機器メーカー約80社から仕入れた製品を、国内約370の医療機関に販売しています。身体への負担が少ない「低侵襲医療」分野に特化しており、狭心症や心筋梗塞の治療に使うPTCAバルーンカテーテルやステント、不整脈の治療に使うペースメーカ、大動脈瘤の治療に使うステントグラフトなど、数々の製品を取り扱っています。

私たちのビジネスモデルの特徴は、成長性の高い低侵襲分野に特化していることに加え、医療機関に対して付加価値の高いサービスを提供している点に

あります。その一つが、医療機器を正しく使うための医療現場支援です。医療機器は多種多様であり、年々複雑化しています。私たちは高い専門性に基づき、最適な医療機器の選択から、使用方法の説明、手術準備、在庫管理まで、患者さんが最適な治療を安心して受けられるようにサポートしています。もう一つのサービスが、医療機関の経営支援です。新しい治療法の導入、診療科の新設や効率的なオペレーションの提案など、医療機関の地域における競争力向上や収益性改善のためのサポートをしています。

ビジネスモデル 独立系の医療機器商社グループ

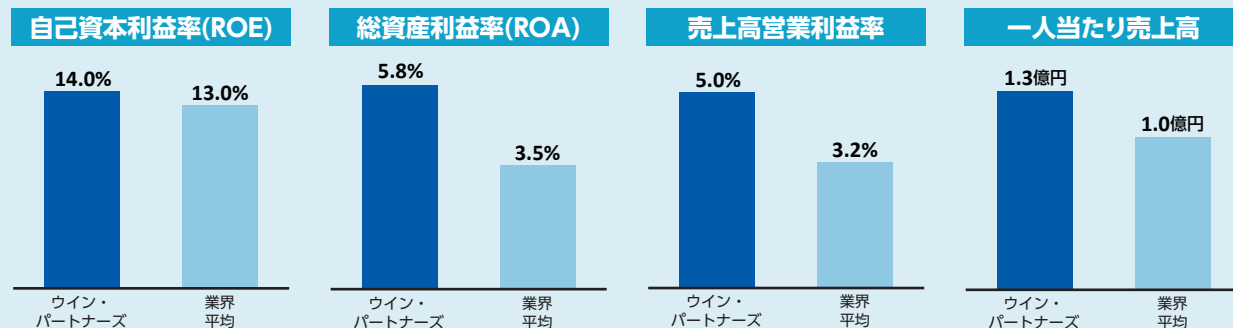


Q-2 医療機関への支援サービスに力を入れているのはなぜですか？

実は、これらのサービスによって私たちが直接的に対価を得ることはなく、売上はあくまでも医療機器の販売によるものです。ただし、私たちのサポートによって病院の競争力が高くなれば、患者さんが増え、結果的に我々の製品がより多く売れることになります。同業他社からでも同じ製品が入手可能ななかで、多くの医療機関が私たちを選んでくださるのは、製品を適

正な価格で販売していることだけが理由ではなく、私たちが提供する多くの付加価値を総合的に評価していただいているためであると自負しています。当社グループのROE、売上高営業利益率など多くの経営指標が業界平均を上回っていることも、私たちの路線が決して間違っていないことを、雄弁に語っていると思っています。

同業他社比較 (2013年度)



Q-3 当期の事業環境と経営成績についてご解説ください。

2014年4月の診療報酬改定によって、ステントやPTCA/バルーンカテーテルなどの保険償還価格(国が定める価格)が引き下げられました。これに伴って当社グループの主力商品の販売価格も下落しました。加えて、消費税率の引き上げに伴う医療機関の投資マインド減退などの影響もあり、当期の事業環境は比較

的厳しい状況で推移しました。このような環境のなか、当社グループは仕入先や販売先との粘り強い交渉によって利益率の確保に努めたほか、競争力の高い商材を積極的に投入するとともに、全国4か所に営業拠点を新設し、販売数量の拡大を図りました。

こうした取り組みの結果、当期の連結売上高は前期

比1.5%の増収、連結経常利益は前期比5.1%の増益となりました。連結当期純利益は、前期に経営統合に伴う負ののれんが発生したことの反動により、前期比8.1%の減益となりました。特に売上が好調だったのは、ペースメーカーや心筋焼灼術(アブレーション)用カテーテルなどの心臓律動管理関連(CRS)の製品群で

す。また、当期から新たに取り組んだ、製品の一括買取戦略も利益率の改善に貢献しました。PTCAバルーンカテーテルの一部を、メーカーから一括で買い取り、在庫リスクを当社グループが負うことにより、仕入価格を抑えることができました。販売数量が多い当社グループならではの取り組みです。

Q-4 次期の事業環境の見通しと業績予想についてお聞かせください。

次期は保険償還価格の変更がないため、市場環境が大きく変わることはないとみており、連結業績については売上高555億円(前期比9.8%増)、経常利益29億50百万円(前期比12.3%増)、当期純利益19億30百万円(前期比14.2%増)と増収増益の見通しです。

当社グループの強みである提案型の営業活動を一層強化し、引き続き虚血性心疾患関連(PCI)のシェア拡大に努めるほか、成長分野である心臓血管外科関連(CVS)や心臓律動管理関連(CRS)を大きく伸ばしてい

く考えです。CVSでは、2013年10月から保険適用となった大動脈弁狭窄症の治療法「TAVI」やステントグラフト内挿術、CRSでは、頻脈性不整脈の治療法である心筋焼灼術(アブレーション)の普及に注力し、関連製品の売上拡大を目指します。また、2015年5月には水戸市に拠点を開設しており、新設拠点を中心に顧客開拓を推進するとともに、製品の一括買取や販売数量増による利益率の改善を見込んでいます。

2016年3月期連結業績予想

	百万円	前期比		百万円	前期比
売上高	55,500	+9.8%	当期純利益	1,930	+14.2%
営業利益	2,950	+13.5%	1株当たり 当期純利益(円)	134.46	+14.2%
経常利益	2,950	+12.3%			

※予想値は2015年5月11日の公表値

Q-5 中長期的な成長戦略についてお聞かせください。

当社グループは低侵襲医療分野に特化することで事業を拡大してきており、今後もこの路線に大きな変更はありません。高齢化を背景に、身体的負担の少ない治療の需要は高まってきており、新たな治療法の普及促進や新製品の拡大などに努めていきます。主力の虚血性心疾患関連(PCI)の市場は現在、踊り場を迎えておりますが、今後は団塊の世代の患者が大幅に増えることが見込まれるため、今後もシェアの拡大に努めることで更なる成長が可能であると考えています。市場が伸びている心臓律動管理関連(CRS)と心

臓血管外科関連(CVS)には、経営資源を積極的に投入していくほか、糖尿病など心臓以外の分野にも低侵襲治療を広めていく方針です。

販売体制については、2014年に子会社で重複する福島県の営業所を統合したほか、テスコ株式会社の本社兼倉庫(仙台市)を移転増強しました。マーケットシェアの更なる拡大を目指し、今後も関東や地方中核都市などを中心に拠点を拡充していく方針であり、人材の育成を強化するとともに、地域のパートナー企業も模索していく考えです。

Q-6 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

おかげさまで当社株式は2014年9月に東京証券取引所市場第一部銘柄に指定されました。これを記念して、1株当たり3円の記念配当を実施することとし、当期の期末配当金は、普通配当35円と合わせ、38円とさせていただきます。また、株式の流動性を高め、より多くの

方に株主となっていただきたいとの思いから、2015年3月には100万株の株式売出しも実施いたしました。

当社グループは配当性向30%以上を一つの目安として、株主の皆様への積極的な利益還元にも努め、次期の配当は1株当たり3円増の41円を予定しております。

当社グループはより良い製品を多くの医療機関に供給することに努め、低侵襲医療の普及を通じて日本の医療の更なる発展と健康寿命の伸長に貢献するとともに、企業価値の向上に邁進して参ります。

株主の皆様にはなにとぞ、当社グループの事業活動にご理解を賜り、引き続きご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円)	前期	当期
	2013年4月1日～ 2014年3月31日	2014年4月1日～ 2015年3月31日
売上高	49,826	50,558
売上原価	43,431	43,862
売上総利益	6,395	6,695
販売費及び一般管理費	3,915	4,096
営業利益	2,479	2,599
営業外収益	20	30
営業外費用	0	2
経常利益	2,499	2,626
特別利益	378	4
特別損失	107	1
税金等調整前当期純利益	2,770	2,629
法人税等	929	938
少数株主損益調整前当期純利益	1,840	1,690
当期純利益	1,840	1,690

Point

売上高

診療報酬の改定に伴う保険償還価格（公定価格）の引き下げにより、ステントなど主力商品の販売価格が下落するも、低侵襲医療領域の取扱商品の拡充や営業エリアの拡大により増収となりました。

Point

営業利益・経常利益

福島県の営業所統合によるグループ管理体制の最適化のほか、規模のメリットを活かしたコスト削減の取り組みが功を奏し、増益となりました。

Point

当期純利益

前期に経営統合に伴う負ののれん発生益や段階取得に係る差益を計上したことにより、減益となりました。

連結包括利益計算書(要旨)

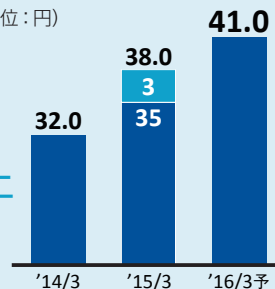
(単位：百万円)	前期	当期
	2013年4月1日～ 2014年3月31日	2014年4月1日～ 2015年3月31日
少数株主損益調整前当期純利益	1,840	1,690
その他の包括利益	10	52
包括利益	1,850	1,743

配当実績

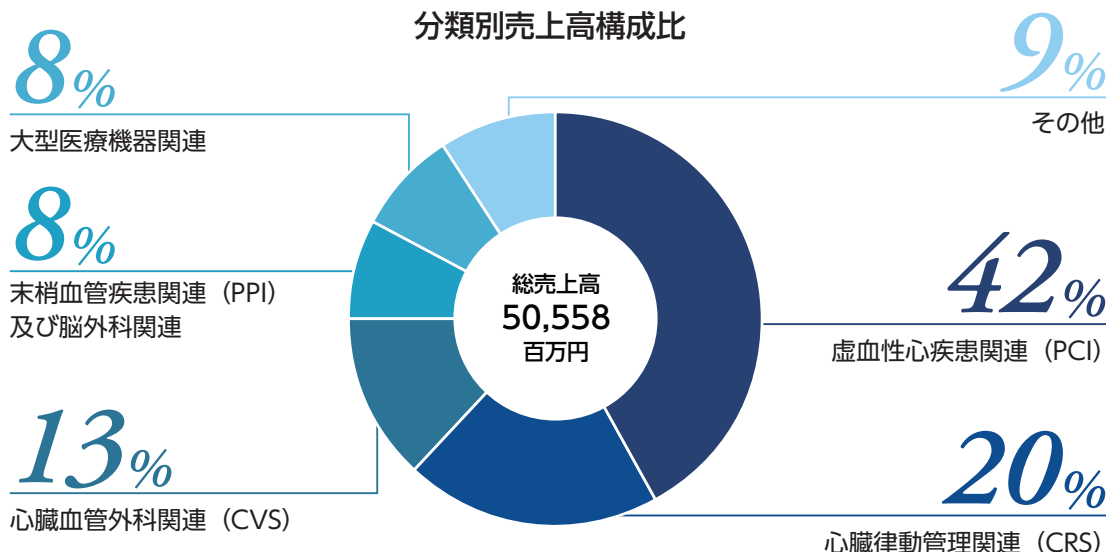
1株当たり配当金 (単位：円)

目標配当性向

30%以上



※'15/3は3円の東証一部記念配当を含む



主要分類別売上概況

● **虚血性心疾患関連 (PCI)** 前期比 **+1.2%**
薬剤溶出型ステント (DES) や、PTCA/バルーンカテーテルの償還価格改定に伴い販売単価は下落したものの、販売数量が伸長しました。

● **心臓律動管理関連 (CRS)** 前期比 **+16.8%**
成長分野と位置付け、頻脈性不整脈に対する治療法の一つであるアブレーション治療の普及等により販売数量が伸長しました。また、新規顧客の獲得が順調に推移しました。

● **心臓血管外科関連 (CVS)** 前期比 **+1.6%**
新規顧客の獲得と既存顧客への販売数量の拡大を図りました。経カテーテルの大動脈弁留置術 (TAVI) やステントグラフト内挿術の普及が進み、関連商品の販売数量が伸長しました。

● **末梢血管疾患関連 (PPI) 及び脳外科関連** 前期比 **+1.6%**
経皮的シャント拡張術の症例数が増加したこと等により販売数量が伸長しました。

● **大型医療機器関連** 前期比 **▲33.9%**
医療施設の新築・増改築の情報を早期に収集し、地域の市場分析や、受入患者数の増加に寄与し得る設備投資の提案を行うも、前期の消費税増税に伴う駆け込み需要の反動により減収となりました。

● **その他** 前期比 **+26.1%**
顧客医療機関における当社グループの取扱商品の拡充を図り、糖尿病関連商品であるインスリンポンプのレンタルが増加したほか、消化器系の商品の販売も増加しました。

主要取扱製品

虚血性
心疾患
関連 (PCI)

PTCA
バルーンカテーテル



薬剤溶出型ステント
(DES)



血管内超音波 (IVUS)
診断カテーテル



心臓律
動管理
関連 (CRS)



ペースメーカー



植込型除細動器
(ICD)



両室ペーシング機能付き
植込型除細動器 (CRTD)



心筋焼灼術用
カテーテル

心臓血
管外科
関連 (CVS)



ステントグラフト



経カテーテル的大動脈弁留置術
(TAVI) 用生体弁



機械弁

末梢血管
疾患関連
(PPI) 及び
脳外科関連



末梢血管用ステント



頸動脈用ステント



塞栓用コイル

大型医療
機器関連
及びその他

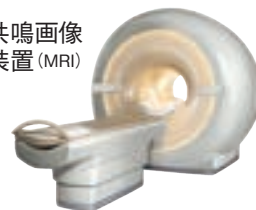
インスリンポンプ



移動式X線
撮影装置



磁気共鳴画像
診断装置 (MRI)



連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	前期末 2014年3月31日	当期末 2015年3月31日
資産の部		
流動資産	23,922	24,537
現金及び預金	8,563	7,238
受取手形及び売掛金	13,798	14,512
商品	1,124	2,106
その他	436	679
固定資産	3,011	3,228
有形固定資産	2,062	2,311
無形固定資産	308	255
投資その他の資産	641	661
資産合計	26,934	27,765
負債の部		
流動負債	15,326	14,821
支払手形及び買掛金	14,276	13,758
その他	1,050	1,062
固定負債	374	427
負債合計	15,701	15,248
純資産の部		
株主資本	11,152	12,383
資本金	550	550
資本剰余金	2,272	2,272
利益剰余金	8,867	10,099
自己株式	△537	△537
その他の包括利益累計額	80	133
純資産合計	11,233	12,517
負債純資産合計	26,934	27,765

連結キャッシュ・
フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

	前期 2013年4月1日~ 2014年3月31日	当期 2014年4月1日~ 2015年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	2,892	△312
投資活動による キャッシュ・フロー	△854	△553
財務活動による キャッシュ・フロー	△355	△459
現金及び 現金同等物の期首残高	4,611	8,563
株式移転による現金及び 現金同等物の増加額	2,269	—
現金及び現金同等物の 期末残高	8,563	7,238

連結財政状態

総資産 **27,765** 百万円純資産 **12,517** 百万円自己資本比率 **45.1** %1株当たり純資産 **872.05** 円

Point

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、たな卸資産が985百万円増加したことや、法人税等を953百万円支払ったこと等から312百万円の支出となりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得により507百万円の支出があったこと等から553百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、前期の配当金を支払ったことにより459百万円の支出となりました。

現金及び現金同等物の期末残高

期首より1,325百万円減少し、7,238百万円となりました。

会社概要

(2015年3月31日現在)

社名	ウイン・パートナーズ株式会社
英文社名	WIN-Partners Co., Ltd.
事業内容	医療機器販売等（連結ベース）
本店所在地	東京都台東区台東四丁目24番8号
グループ会社	株式会社ウイン・インターナショナル テスコ株式会社
設立年月日	2013年4月1日
資本金	5億5千万円
従業員数	399名（連結）

役員

(2015年6月25日現在)

代表取締役社長	秋沢 英海
取締役	秋田 裕二
取締役	三田上 浩美
取締役	村田 裕可
社外取締役	間島 進吾
社外取締役	白田 佳子
取締役	中田 陽一*
社外取締役	神田 安積*
社外取締役	菊地 康夫*

(注) 2015年6月25日に監査等委員会設置会社に移行しました。(※は、監査等委員)

株式の状況

(2015年3月31日現在)

発行可能株式総数	50,000,000株
発行済株式の総数	15,251,655株
株主数	3,091名

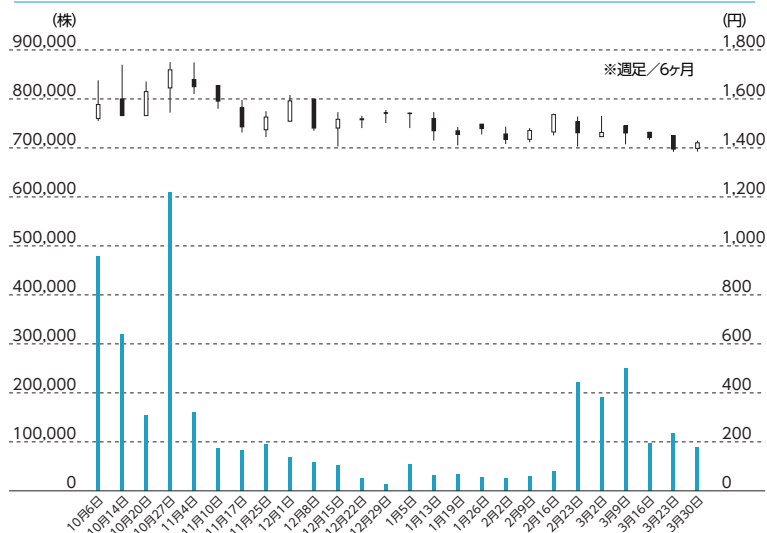
大株主

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
有限会社オフィスA	2,750,000	19.2
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO)	1,454,700	10.1
株式会社キエマ企画	945,500	6.6
秋田裕二	856,245	6.0
グリーンホスピタルサプライ株式会社	800,000	5.6

(注) 持株比率は自己株式897,433株を控除して計算しております。

株価及び出来高の推移

(期間：2014年10月～2015年3月)



株主メモ

事業年度	4月1日から3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	期末配当金 3月31日
公告の方法	電子公告 http://www.win-partners.co.jp/koukoku/ やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)	東京都千代田区丸の内1-4-5 三菱UFJ信託銀行株式会社
連絡先・送付先	〒137-8081 東京都江東区東砂7-10-11 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711 (フリーダイヤル)

※ 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則として口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。

IRカレンダー



WIN A BETTER QUALITY OF LIFE

WIN PARTNERS

ウイン・パートナーズ 株式会社

〒110-8558 東京都台東区台東4-24-8
TEL: 03-6895-1234

www.win-partners.co.jp



WINはQOL推進企業です